

第5.7号議案

「子育て講座「お外で子育てしませんか」～自己肯定感を育む子育てのコツ～」の後援名義使用承認について

上記の議案を提出する。

平成28年9月2日

提 出 者 文京区教育委員会

教育長 南 新平

別記様式第1号 (第6条関係)

文京区教育委員会 共催・後援 名義使用申請書

平成28年 8月 5日

文京区教育委員会 殿

申請者 (申請団体) 文京区にプレーパークを作る会・ぐうちよきパラダイス

住所 (所在地) 文京区千駄木1-22-33-201

代表者名 吉澤 育子

代表者連絡先 同上
(事務担当者)

下記事業を実施するに当たり、文京区教育委員会 共催 **後援名義**を使用したく、申請します。

記

事業名	子育て講座『お外で子育てしませんか』～自己肯定感を育む子育てのコツ～		
実施期間	2016 年10 月 15 日 (土) から 年 月 日 () まで (1 日間)		
実施場所	駒込地域活動センター・洋室A、B		
事業内容	目的※	講座を通し、参加した保護者や子どもを見守る大人たちに、子どもの心と身体の成長、人間関係構築における外遊びの重要性を理解してもらおうと共に、そこで築かれる親子以外の関係(ななめの関係、他の子を見る、親でない大人との関わり、プレイワーカー等)を知り、今よりも楽に子育てしてもらえ事を旨とする。	
	内容	講演会前半戦はワークショップ「遊びの絵地図」大人に子どもの頃を思い出してもらおう。後半は講師が遊びについて話す。 (詳細は別紙事業概要参照)	
	対象者	幼児から小学生の保護者 (参加予定人員 50 人)	
	参加費	無料	
他団体の共催、後援等 (申請中、承認済の別)	特定非営利活動法人 日本冒険遊び場づくり協会 共催事業		
備考			
申請書類一式は、教育委員会会議資料として、HP等で公開いたします。 公開することに 同意する ・ 同意しない			

※ 「目的」は、教育委員会が後援するに当たり、「区立幼・小・中の児童・生徒にとって、どのようなメリットがあるのか」という視点で記載してください。

事業予算書

事業名 子育て講座『お外で子育てしませんか』～自己肯定感を育む子育てのコツ

団体名 文京区にプレーパークを作る会・ぐうちよきパラダイス

収 入 単位：円		支 出 単位：円	
日本冒険遊び場づくり 協会より出資金	25000	会場費	3500
		印刷代	6000
		印刷用紙	5000
		託児費用	8000
		文房具など備品	2500
計	25000	計	25000

2018年 8月 5日

(備 考)

「お外で子育てしませんか～自己肯定感を育む子育てのコツ～」

企画概要

<主旨>

日本冒険遊び場づくり協会が公益社団法人 東京都福祉保健財団「東京子育て応援事業」の支援を受け、都内各地で行う、お外で子育て推進事業における共催事業の採択を受け今回、開催を行う。

<目的>

社会の目は貧困に注目が集まっています。でもここ文京区の子どもは他の区と比べると経済的な「貧困」はあまり見られません。でも遊ぶ場所、時間、環境が少なく

「体験の貧困」状態になっていませんか？また幼いころからゲーム、スマホアプリなどの子育てなど昨今問題となっています。

外遊びが少ないと遊びの中で得られる身体の総合的発達、危機を察知する能力が養えません。また遊びの中で育まれる自己愛着、自分を大切にすることが自己肯定感につながっていくのではないのでしょうか。

講座を通し、参加した保護者や子どもを見守る大人たちに子どもの心と身体の成長、人間関係構築における外遊びの重要性を理解してもらおうと共に、そこで築ける親子以外の関係性（ななめの関係。他の子を見る、親でない大人との関わり、プレイワーカー）を知り今より楽に子育てをしてもらえる事を目指す。

<日時>

2016年10月15日(土曜日)

10時から12時

<場所>

駒込地域活動センター 洋室A・B

<内容>

講演会前半はワークショップ「遊びの絵地図」大人に子供の頃を思い出してもらおう。後半は講師による遊びについての話。詳しくは別紙参照

<講師>

関戸博樹氏

日本冒険遊び場づくり協会理事

フリーランス プレイワーカー

大学で福祉を学び「すべての人が元気になる地域を作る」ことを仕事にしたいと考える。冒険遊び場づくりの活動と出会い、「住民が子どもの遊び場について考え活動することを通じて地域が元気になっていく」ことに大きな魅力を感じ2004年～2012年の8年間、渋谷区はるのおがわプレーパークで常任プレイワーカーとして従事。現在はプレーパークでの仕事に限らず子どもの遊び環境向上のため様々な人材育成、大学講師また幼稚園保育園の園庭改良など多方面にわたって活躍している。

<対象者>

幼児から小学生を中心とした保護者及び子育て、子どもに関心のある方

「お外で子育てしませんか」組み立てなど

120分

9時30分 会場着

9時35分～ 講座についての最終打ち合わせ、PC、パワポ動作確認、会場設営

9時45分～ 受付

10時00分～ 開始、会より挨拶

10時05分～ 講師自己紹介 (5min)

10時10分～ アイスブレイク「外遊びの楽しさ&大変さ (我が子だけに限らず)」

※近くに座る人たちで4人グループをつくってもらい3分ぐらいおしゃべり。その後、全体にヒアリングしてシェア。

10時25分～ 遊び絵地図ワークショップ (20min) →記入5分、4人のグループでシェア

15分 (キーワード:「自らの子ども時代・遊び体験」を振り返る、誰にでもあった子ども時代だが大人は子どもの頃を覚えてはいない)

10時40分～ パワーポイントの資料を見ながら遊びについて話す(50min)

遊びとは何か? ※簡潔に

→歩けない赤ちゃんも遊んでいる/子どもは遊びの専門家/本能/正誤や善悪がない

なぜ、遊びが子どもを育てるのか?

→やってみたい気持ち/自分や他者への愛着/生きる意欲・意欲の芽/根拠のない自信/自己肯定感/感覚統合/自分で自分にOKが出せる/自分の人生の主人公として輝く

※「私は価値のある人間だと思う」: 日本 7.5%、米国 57.2%、中国 42.2%、韓国 20.2%
高校生の心と体の健康に関する調査—日本・アメリカ・中国・韓国の比較 (財団法人日本青少年研究所)

では、どうしたら子どもが遊べるようになるのか?

→迷惑をかけ合って生きる/ナナメの関係/親子だけでは育たない/遊び場の役割

※子どもに将来どんな人になって欲しいか「他人に迷惑をかけない人」: ソウル 21.1%、台北 24.4%、北京 6.5%、上海 5.9%、東京 65.6% 幼児の生活アンケート・東アジア5都市調査 2010 (ベネッセ次世代育成研究所)

11時30分～ 冒険遊び場の紹介「歴史と日本の概要」(10min)

11時40分～ 質疑応答&感想シート記入 (15min)

11時55分～ 終わりの言葉&アナウンス

12時00分 終了

文京区にプレーパークを作る会 会則

(名称)

第1条 文京区にプレーパークを作る会と称す

(目的)

第2条 本会は子どもたちが「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに子どもの外遊びの環境の向上と子どもの心身の発達及び地域住民が交流できる場を作ることを目的とし最終的には文京区にプレーパークを開設する

(会員)

第3条 本会は子どもの保護者及び地域住民またこの活動を応援したいと意思を示した者をもって会員とする

(役員)

第4条 本会に下記の役員を置く

会長 1名 本会を代表し会務を統括する

会計 1名 本会の予算及び入出金を管理記録する

(事業)

第5条 本会は第2条の目的を達成するために 次の事業を行う

① 月1回の公園での外遊びの自主開催

② 月1回のスタッフミーティング

(細則の規定)

第6条 本会則施行の為の必要な最速は会員の総意によって定める

(財政)

第7条 本会の財政は助成金、寄付金その他によってまかなう

第8条 本会の会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする

(総会)

第9条 総会は、すべての会員をもって構成し本会の最高決議機関とする
定期総会は年度当初に開催し次の事項を審議する

① 前年度の決算報告

② 役員の変更

③ 新年度の活動計画と予算審議

④ その他重要事項審議

(施行期日)

本会則は平成27年10月1日より施行する

団体名 文京区にプレーパークを作る会・ぐうちよきパラダイス

	役職	氏名
1	会長	吉沢 育子
2	副会長	青木裕子
3	会計	千葉由紀子
4		石井浩代
5		上瀬姫名
6		佐藤智香
7		澤田 圭二
8		山本 一仁
9		向山陽子
10		清永博
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		